

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
1	<p>【屋外施設建設への支援について】 地区の公民館の近くの広場にジブリ人形があり、土日になると車が10台から20台ぐらいは必ずお客さんが来てくれる。私たちが公民館にいれば、公民館のトイレを使ってもらうことができるが、ずっといることはできないので、公衆トイレを公民館のところに作ることはできないか。 また、ジブリ人形がある広場の下の昔水田だった所に、自然の流れるプールを作ってあげたい。コンクリートで四角いセメントを張り、谷から用水路を使って水を溜めるようにしたい。このような活動に対する補助金などはないのか。</p>	<p>(市長) 現時点での市の既存の補助制度では、例えば「元気のいい三北づくり支援事業」、或いは「市民まちづくり活動支援事業」などに手を挙げていただき、公開の審査会を経て、採択されたら補助するものがあります。トイレも、プールも、土地の持ち主や管理について整理して、どういうやり方があるのか、また相談させていただければと思います。よろしくをお願いします。</p>	<p>公民館側と協議を行い、考え方を整理した内容で回答いたします。</p> <p>(公民館利活用) 新たに施設を整備することは難しいので、既設公民館の改修等を行うことでの機能回復を図ることへの助成制度の活用を提案いたします。 ※社会教育課所管・自治公民館建設補助事業 (改修・改築の種別による事業費補助)</p> <p>(河川プール) 補助制度の利活用は可能でありますので、土地に制約があるなどの課題等がないことと、事業量及び事業費等を把握し、ご相談ください。</p>	北川地域振興課	第一部(全体)

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
2	<p>【ゴソ対策、市道の嵩上げ】  「ゴソ」対策について、年に2回ほど、土木事務所、延岡市と、地区の公民館で検討会をしている。この検討会は継続していただくようお願いしたい。  それと大雨が降るたびに市道が浸かってしまう。北川で一番低い家田地区の市道は、ちょっとした大雨や台風で浸かり避難ができない。高齢者もいる。なかなか難しいと思うが市道の嵩上げを要望したい。</p>	<p>(市長)  「ゴソ」対策については、やはり水が入ってこないような対策というのが一番大事だと思っていますので、そこをさらに強化してもらえるように県にはさらに要請していきたいと  思います。  また、市道の嵩上げについては、ある特定の狭いエリアだけで問題を解決するということではなく、全体的な話になりますので、非常に難しいことではありますが、多少でも緩和できる方策をぜひ探していきたいと考えております。</p> <p>(産業建設課長)  家田・川坂地区における「ゴソ」対策については、県の土木事務所に、地元説明会を開くよう要望しており、近々地元で説明会を開催する予定であるとお聞きしています。  市道の嵩上げについては、今年の台風6号の時に家田地区の「灘橋」と「陰橋」の間の市道がたわみ、水が浸かって出入りができないという状況になりました。今施工方法について協議を進めているところです。詳細がお伝えできるような段階になれば、また報告させていただきます。</p>	<p>(ゴソ対策、市道の嵩上げ)  家田・川坂地区における「ゴソ」対策については、河川管理者である宮崎県が家田地区の霞堤開口部にゴソ流入防止フェンス(低水位と高水位用に2重)と監視カメラを設置し、さらに水制工によるゴソ流入抑制の検討方法を地元  に計5回の説明会を開催して意見をお聞きしており、6回目を令和5年12月21日(木)に開催したところです。今後とも地元への説明を継続して行い、理解を得たうえで水制工によるゴソ流入抑制を宮崎県と延岡市が連携を取って進めていきます。  市道の嵩上げについては、左記のとおりです。</p>	北川産業建設課	第一部(全体)

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
3	<p>【バスの増便、少子化対策】                      職場の方から、朝課外に間に合うようなバスがなく子どもを送らないといけないという声を聞く。運行は宮崎交通さんが決めることだと思うが、市でも何かしら検討いただきたい。                      それから、延岡市における近年の出生数および出生率について、北川地域においては3年前と比べて児童数が20名以上減っている。この少子化対策についてお考えを伺いたい。</p>	<p>(市長)                      バスの問題は、もっと充実をして欲しいという大変強い声をいただいております、できることから順次やっております。ご存じのとおり、宮崎交通さんは、経営が非常に厳しい状況で、さらにコロナが5類になり人手不足が深刻化しております。宮崎交通さんに要請する以外の手法、例えば、乗合タクシーとか、スクールバスを住民が利用できる「住民混乗」も探っております。また現在、市全体の交通計画を作っている最中で、地域の皆さんとの意見交換会も行いましたので、北浦の乗合タクシーのような方法ができないか、さらに検討していきたいと思っております。                      そしてもう一つ、現在の法制度では白タクという、違法扱いになりますが、朝、道を通る方が車に乗せて、ある程度まで連れて行ってあげてを一定の地域では認め、場合によっては少しはお金を払う「ライドシェア」の議論が真っ最中であります。安全安心を確保する前提ですが、「ライドシェア」という形を、市内各地のニーズを見ながら考えていかなければならないと思っています。                      それから少子化対策ですが、赤ちゃんの数が増えていて、それに伴って、今延岡市内では、0歳児から2歳児までの保育園の受け入れが少ないという問題がございます。一方でその問題を解決するために、3年ほど前に、栄町の空き店舗に短期大学を誘致しました。私どもとしては、0歳児から2歳児の経営を市全体で増やししながら、保育士を延岡で養成し、県外に出ても帰ってきてもらい、各園がこれからもご活躍いただけるよう、さらにしっかり取り組んでいきたいと思っております。</p>	<p>(バスの運行)                      バスの運行について、運転士不足の中でも維持できるよう、宮崎交通と効果的な路線再編に向けた協議を進めています。                      地域公共交通計画策定過程に実施した地域座談会によって得られたニーズを踏まえ、住民混乗や、オンデマンド型乗合タクシーの運行の可能性などについても検討してまいります。                      ライドシェアについては、国の動向を見据えつつ、先行自治体の事例や懸念点などの情報収集に取り組むとともに、タクシー協会と意見交換を行っています。</p> <p>(少子化対策)                      0歳児から2歳児の保育園での受け入れ問題をはじめ、さまざまな保育事業を実施する上で、一人でも多くの保育人材を確保しておくことが非常に重要となります。そのため、令和2年10月、栄町に小田原短期大学延岡スクールを誘致し、以降、毎年約20名の学生が保育士等の資格取得に励んでいます。こうした、地元で保育士等を養成する取り組みに加え、令和4年度から「保育人材確保支援強化事業」として、市内の保育士等の絶対数を増やすため、新たに市内で働く保育士等に就職準備金を支給することで、市外・県外の保育士養成校で学ぶ学生に延岡に戻ってきてもらう取り組みを市内の保育園と一緒に実施しています。                      また、令和5年4月から、0歳児から2歳児の保育料を全面的に引き下げるとともに、子どもが複数いる世帯に対する保育料の軽減制度の対象を拡大することで保育料の負担軽減を図っている上、令和6年4月から県内の市で初めて18歳まで医療費助成を拡大することとしています。(別添チラシ参照)</p>	<p>地域・離島・交通政策課                      子ども保育課</p>	<p>第一部(全体)</p>

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
4	<p>【農地の環境保全】                      今年は非常に暑い日が続き、田んぼの畦草を切らないまま放置している状態が特に多く見受けられる。これは耕作者のお考えもあると思うが、手が回らないのも現実だと思う。そこでぜひ、稲作期間の5月から10月までの約6ヶ月間を、県、市、そしてJA、さらには農家の皆さんが、応分の負担をして、それぞれの地区の請負作業ができるようなグループを作ることができないか。80歳を超えた人たちがトラクターやコンバインに乗って頑張っておられる。何かいい方法で取り組んでいただきたい。</p>	<p>(市長)                      特に猛暑の今年は、より深刻化したと思っております。市では、農林水産業公社を作り、人材を確保し、派遣する構想の実現をめざし、まず実証事業として今年1月から北浦町での農作業と、片田の玉ねぎ収穫作業を派遣人材により行っています。まずは冬場で実施するのですが、おっしゃられた夏場の人手をどう確保するののかも、大事な検討課題だと思います。                      昨年までも「のべワーカー」といって、普段農業に従事していない方が主にパートやアルバイトで農作業を手伝うという形を進めていて、ハウス農家や稲作農家などで活用いただいています。また、賃金や保険代の一部助成も行っておりますので、「のべワーカー」も組み合わせながら、時期を絞って実施してみるという考え方もあるかと思っておりますので、検討してみたいと思っております。</p>	<p>(農地の環境保全)                      本市では、農村地域におきまして、農業者など地域の皆さまが協力し、農地の維持や農村環境保全などを目的として行う共同活動に対して、国・県・市が必要な事業費を確保し、多面的機能支払交付金による支援に取り組んでおります。農道の法面の草刈りや水路の泥上げなどの共同活動が同交付金の支援対象となりますので、支援制度の詳細などにつきましては総合農政課までご相談ください。                      なお、新たに共同活動による農村の環境保全に取り組む意向をお持ちの地域につきましては、公民館などに出向いて説明会を開催するなど、多面的機能支払交付金制度を活用した農村環境保全活動の活性化にも努めております。</p> <p>(のべワーカー)                      本市は、不足する農業現場の労働力を確保する仕組みとして、農林業労働力マッチングウェブサイト「のべワーカー」を運用しています。農林業の仕事に興味を持ち、就職や短期就労などを考えている方へ求人情報をお伝えするとともに、労働力を必要としている農林事業者の皆さまは、インターネット上で求人募集をすることが可能であり、このサイトを利用して人材を雇用した場合に賃金の一部補助なども行っています。                      (別添チラシ参照)</p>	<p>総 合 農 政 課 ・ 農 業 畜 産 課</p>	<p>第 一 部 ( 全 体 )</p>

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
5	<p>【北川湿原】</p> <p>北海道から講師の先生がお見えになり、川坂川を守る会と北川湿原に行って、お話をする機会があった。先生はコウホネを素晴らしいものだと改めておっしゃってくれた。我々も後世に必ず残してあげなければという使命感を持っているが、市にもご協力していただきたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>長年地域の皆様が本当にすばらしい湿原を守ってきていただいて、多くの方々を魅了しております。まだまだ知られていないことを知っていただきたく、私どもも今年度、トイレ、駐車場の整備、遊歩道の整備をさせていただいております。どうやって維持をしていくか、大変切実な課題に直面していると思います。他県の事例など勉強しながら、どういう方策が実行できるかを考えていきたいと思っています。</p>	<p>(北川湿原)</p> <p>令和5年11月22日(水)開催された「家田・川坂川地元協議会」の中でも維持管理に関する意見交換がなされたところです。</p> <p>外来種駆除作業(2回/年間)においては、河川内に人工的に常設で日陰の状態を作ること、具体的には河川内を寒冷紗的なネットで覆うという意味で、外来種の繁殖を抑制でき、コウホネ等の生育条件を整えられるのではないかと研究発表がありましたが、河川管理上現実的ではなく、課題も多いとのことでした。</p> <p>また、河川管理においては、治水、利水に加えて、環境保護を加えられている状況にあるため、今後、河川管理者や地元協議会と検討し、考えられる課題を洗い出すと共に議論し、よりよい維持管理の手法を検討してまいります。</p>	北川地域振興課	第二部(市長)
6	<p>【AEDの設置、トイレ・更衣室の整備】</p> <p>AEDの設置について、私どもの地区については早急に検討すると回答をいただきありがとうございます。しかし、下赤などはAEDがまだない状態なので、なるべく早い時期に、旧中学校区域に設置をお願いしたい。</p> <p>1点お願いです。北川の川にはカヌー等をするためにたくさんの方が遊びに来る。しかし、カヌーが発着する松瀬地区周辺には着替えるところもなく、トイレもない状態。都会から来た人が、映像で見るとすごくよくても、実際来てみたら着替えるところもトイレもないとイメージが悪くなる。1回来たら次来ないということでは困る。ぜひ北川、小川、本川の流域を見ていただいて、検討いただきたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>北川は、今後ますます他所からお客さんに来てもらえるような、人気の場所にしていきたいと思っています。そうなると当然、着替える場所やトイレは大きな問題となってきますので、実際インストラクターの方等のご意見を聞きながら考えさせていただきたいと思っています。</p> <p>AEDにつきましては、小学校区域内には必ず外付けの、夜間も使用できるものは整備が終わりました。その次はまた、半径何メートルという値を狭めながら増やしていこうと思いますが、ご指摘も踏まえて、検討してまいります。</p>	<p>(AED)</p> <p>令和4年度までに北川地区内の公共施設等には9台設置しており、中心部から遠距離で、加えて医療機関等のない地区に対する必要性は十分認識しております。</p> <p>今後、できるだけ早い時期にAEDを整備する方向で検討してまいります。</p> <p>(トイレ及び更衣施設)</p> <p>観光面における誘客要因の一つであることは、十分認識しておりますが、川のそばでカヌーの乗降ができ、着替えられる施設を整備することは、簡易的な施設であっても、河川管理上難しいものと思われます。</p> <p>小川及び本川は一たび増水するとすべてを呑み込んでしまう河川であり、今後、河川管理者とも協議を要するものと思われます。</p> <p>そこで、実態の聞き取りを行うと共に、スタート地点及びゴール地点の公民館を代替施設として一部利活用等が可能であるか、関係区と協議検討し、観光面から施設の清掃等の維持管理費用の負担を行うなど、でき得る限り対応してまいります。</p>	総合福祉課・北川地域振興課	第二部(市長)

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
7	<p>【商品・サービス券、地区のPR、里山塾】 物価高でみんな大変な思いしているところに、振興券をいただきありがとうございます。里山塾も大盛況で、市内や県外からも川坂地区に来ていただき、民泊もしてもらい、良い地区ということを広めていただいたと思います。どのような反響があったかを聞かせてほしい。 また、川坂地区には、カメラで電車を撮影に来る人がとても多いので、地区のPRをもっとやってもらいたい。</p>	<p>(市長) 国からの交付金の関係もあり、全世帯に5,000円以上は出せなかったのですが、物価高は全てのご家庭に影響が出ますので、子育て世帯等だけではなく、全ての世帯という考え方で配らせていただいております。また追加の物価高対策も国から示されているので、どのような対策とするのか、検討していきたいと思っております。 それから、北川地区は、これからまだまだ多くの方が来る場所ですし、この北川の素晴らしさを多くの方に知っていただけるよう、しっかり取り組んでいきたいと思っております。 その中で、「のべおか里山塾」こそ、教授陣は日本の最高峰の人達が並んでいますし、他では学べないことがたくさん学べます。民泊や女子会の皆さんとの交流などは他ではできませんので、これからもぜひ続けていきたいと思っております。国の交付金が貰える3年間のうちに、できるだけたくさんの人に来ていただいて、北川や延岡の魅力を知ってもらい、その中の何%かでも移住してもらえるようにしていきたいと思っております。本当に皆さんのおかげで順調なスタートを切ることができたと思っております。これを延岡もしくは北川の第一次産業のマンパワーにもつなげられるよう、皆さんと頑張っていきたいと思っております。</p>	<p>(商品・サービス券) 物価高騰の影響を受けた市民生活を下支えするとともに、消費喚起を行うことで、市内経済の回復を図ることを目的に、全世帯に5,000円分の「商品・サービス券」を9月18日から11月20日にかけて日本郵便(株)の「ゆうパック」にて配達しました。 また、さらに追加で、令和6年2月下旬からも配布しています。</p> <p>(のべおか里山塾) 今回の里山塾の参加者にアンケートを行い次のような意見がありました。 ・北川町川坂地区の皆様が協力して夕食の振る舞いや昼食の準備などあたたかいおもてなしがとてもうれしく思いました。 ・10/6(金)夕食は、地元の食材を提供いただき、とても美味しくいただき、延岡は誇れる町だと感じました。 ・農家民泊は良かったが、学生さんなどは支援をしてあげるとより里山塾に参加しやすくなると思います。 上記のようなご意見があり、参加された方々は、川坂地区の皆様のおもてなしの心とありがたさを感じられたと思います。 のべおか里山塾は中山間地域の獣害対策はもとより農業等の担い手確保など中山間地域が抱える課題の解決につなげるため、今後も事業を展開していきますので、今後ともご協力をお願いいたします。</p> <p>(次ページに続く)</p>	北川地域振興課・林務課	第二部(市長)

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
7			<p>(北川地区の魅力発信)                      ユネスコエコパークの拠点、アウトドアの拠点施設としてホタルの館を現在整備中ですが、リニューアル後は、例えば、訪れた皆様がレンタサイクルを活用し、川坂地域の湿原や田園、コスモス畑などの豊かな自然を堪能できるような取り組みを考えているところです。また、祝子川温泉美人の湯におきましてもリニューアルの検討を進めており、大崩山や祝子川地域の自然を活かし、北川地域へのさらなる誘客を図っていきたいと考えます。</p>		
8	<p>【農業トライアルサポート事業】                      農業体験受入農家の募集に、私は手を挙げた。人材不足なので、すごく良いチャンスだと思っている。その後の状況を教えていただきたい。</p>	<p>(市長)                      ご意向を取りまとめた上で、力を貸してくれる人の募集も並行してやっていますので、まだマッチングの手前の段階ではないかと思えます。確認して、取り急ぎ回答するようにしたいと思います。</p>	<p>本件については、移動市役所の翌日に北川地域振興課から連絡を受け、質問されたご本人に総合農政課からお電話を差し上げました。お話したところ、事業の内容やアンケートの主旨を誤解されていたようなので、電話で丁寧に説明し、ご納得いただきました。                      引き続き、当該制度についての周知に努めてまいります。</p>	<p>総 合 農 政 課</p>	<p>第 二 部 ( 市 長 )</p>

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
9	<p>【民泊】 民泊が延岡には今20件ある。近頃は、参加したいという人も増えてきて非常にうれしいことだが、最低50件ぐらいは作りたいという最初の計画がなかなか進んでいない。県からは、延岡には宿泊施設がないので、国体が始まるまでに、一部を民泊で賄って欲しいという話がちらほら来る。もうそんなに猶予はない。できるだけ早く、50件くらい民泊を作りたいと思っている。市からのバックアップをお願いしたい。</p>	<p>(市長) インバウンドが再開し、コロナが5類になりましたので、再び人がたくさん来ると思います。本当に意欲のある方や志のある方にどんどん民泊をやっていただき、我々も、いろいろとサポートやご相談対応させていただきたいと思っております。 国体の件は、確かに宿泊が足りないという状況があります。今回の国体は分散開催ということで、室内競技は主に延岡でやります。ところが、民間のホテルの部屋数も足りないで、今、市では、建物を改修したり、部屋を増やしたりして、公共の宿泊施設を整備しています。民泊の方がご協力していただくと、これはもっとありがたいことになりますので、ぜひまたいろいろとご協力いただきたいと思います。よろしく申し上げます。 国体と実は同じ年に、もう一つ北川にとっては大事な時期を迎えます。西南の役150年です。おそらく全国から歴史ファンが来られると考えられますので、宿泊を民泊でしていただく、もしくは北川に来て、大いにいろんなところを回っていただくことを考えていかなければならないと思っています、4年後に向けてしっかり取り組んでいかなければならないと思っています。民泊の皆さんのご協力もさらにお願ひしたいと思ひます。</p>	<p>(民泊開業への助成) 現在、市では「延岡ふるさとツーリズム協議会」を通じて、新規に民泊を開業される方に対して、簡易宿泊業登録費用や看板製作に係る費用の一部を助成しており、今後も続けていく予定です。また、民泊軒数を増やしていけるよう、随時協議会の皆さまと意見交換を行っていきたくて考えております。  (国民スポーツ大会における宿泊施設対策) 現在、市内では、官民が連携して準備委員会が立ち上げられ、その中に4つの専門委員会を設置しており、宿泊については、宿泊衛生専門委員会で協議をしていきます。令和6年度には、各競技の日程が正式決定される予定ですので、より詳細な宿泊者数や受入れ施設について検討していくこととなりますが、民泊の利用についても、宿泊施設不足対策として検討していきたいと考えておりますので皆様のご協力をよろしく申し上げます。  (西南の役150年に向けての誘客促進) 今後、西南戦争150年に迎えるにあたっては、国民スポーツ大会への対応を含めた誘客促進のアクションプランを新たに策定する予定としており、西郷隆盛宿陣跡資料館については施設のさらなる充実を図るため、展示物の拡充を検討するとともに、記念事業や企画展を開催するなど、様々な事業の展開を検討していきたいと考えております。 さらに、資料館への誘客を図るため、道の駅北川はゆまを始めとした主要施設における周知活動やSNS等による情報発信など、案内強化の取り組みも進める考えです。</p>	<p>観光戦略課 ・北川民地ス域ポ振興ツ課 大会準備室</p>	<p>第二部(市長)</p>



令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
10	<p>【田んぼの水引き、市道等の浸水について】 圃場整備して10年目。畜産農家なので藁が取りたいが、田んぼの水が引かないので機械を入れて、水引きがいいようにしてほしい。 それと、国道10号線の工事が終わって「ぐり石」の塊を井堰の下に、川の水を堰切るように積んでいる。上にある舞見田地区の農地は水を堰切るのですぐに浸かる。非常に困っている。どうしてあそこに置いたのか。台風の時もすぐ市道に水が上がる。</p>	<p>(北川産業建設課長) 田んぼの水引きの件については、総合農政課と現場の確認に行っております。どういう施工方法がいいのか今検討している段階です。 井堰の下に石を置いている状況については、どういう状態になったら、置いているぐり石などが支障になって水が上がるのか、現場に行った限りでは、分かりませんでした。ちょうど井堰から水が流れ出るところが何ヶ所かあって、その洗掘防止のために置いているのかと思いましたが、国道10号線の工事なので国交省に確認します。 それから、台風が来た時に市道が浸かる場所はたくさんあり、一つの地区だけではなく全体の問題です。全体計画の中でどういうふうに位置づけるかということは今後、協議をしていきたいと思っております。</p>	<p>(田んぼの水引き) 田んぼの水引きの件については、左記のとおりです。  (市道等の浸水) 井堰の下に石を置いている状況については、国(延岡国道維持出張所)に確認したところ、令和元~2年度に行った国道10号の工事の際に、現場から出たぐり石を地元からの要望を受け、井堰から水が流れ落ちるコンクリートの切れ目付近が洗掘されることから、国が河川管理者である宮崎県と協議を行い、河川断面を阻害しない条件として、袋詰めぐり石を設置する部分を掘り込む対策を行い、工事の中で設置したとのこと。宮崎県にも確認し、設置の経緯は国と同様の内容であり、河川断面を阻害しているとは考えていないとの回答がありました。 台風が来た時に冠水する市道については、左記のとおりです。</p>	北川産業建設課	第二部(部長)
11	<p>【補助制度の新設】 延岡市が管理する小さい川があり、熊田で言う曾立谷川、川坂地区で言うと山内谷川。草刈等をやっても補助対象事業になっていないので、市が単独で補助事業を制度化していただけないか。県の補助制度で堤防等の草刈りをした時に補助金が出る「河川パートナー事業」という枠組みがあるが、それを上回るような補助金額を作ってもらえるといい。1㎡あたりいくらかという金額で補助金の制度を作ってもらいたいと思う。予算規模としてもそんなに大きい予算規模にはならないと思うし、市としてもユネスコエコパークの中の溪流の補助制度を作ることによって延岡市自体のPRにもなるかなと思うので、ぜひよろしくお願ひしたい。</p>	<p>(北川総合支所長) 産業建設課で、現地を見るなどし、全体的な中で制度設計は検討させてもらいたいと思っております。</p>	<p>(補助制度の新設) 延岡市が管理する河川の草刈り等は小規模で急な斜面などが多く、あまり人里に多いわけではないこともあり、これまで河川管理事業において、河川断面を確保することを目的に市内全域における維持管理の中で河道掘削、樹木伐採、草刈り等を市が行っていますので、草刈りに関する補助制度化は今まで検討してきてはいない状況です。 また、川坂地区の山内谷川は、湿原内にあることから、川坂川を守る会の活動として国のかわまち制度や、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会の補助事業が利用できないか検討を行い、さらに、この地域は希少生物も生息している湿原であるため、環境保全の観点からもどのような支援ができるのか協議を進めていきます。</p>	北川産業建設課	第二部(部長)

令和5年度 移動市役所議事録要旨(北川中学校区)

通 番 号	質 問	会場での回答	対応状況	課 担 室 当	区 分
12	<p>【シキミ生産の現状について】 シキミのことを少しお話します。質問とか要望ではないので楽に聞いていただければと思う。 シキミの生産振興について、ご理解、ご協力いただき御礼を申し上げます。スマート農業は始まったばかりで、これから技術革新が進めば、より良いものになってくると思うので、専門家の方の知見等も交え、一步ずつ進めていけたらと思う。 シキミの生産量自体はコロナ前よりも増えている状況で、高齢化や異常気象の影響を少しは受けているが、何とか工夫して耐え忍んでいるような状況です。 そのような中、来年農協が宮崎県で一つになります。例えば肥料の購入も、他の農産物の人たちと共同購入する等の自分達なりの工夫を、農協と一緒にやろうとしている。皆様方にご相談させていただくこともあると思うので、その際にはよろしくお願ひしたい。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>	<p>市ではこれまで、例えば設備整備への補助や、アシストスーツ導入への支援、愛媛大学や県等との連携によるスマート防除、ふるさと納税返礼品としての売上拡大支援、のベワーカーによる人材確保支援などに取り組んでいますが、今後も農家の方々と十分協議しながら必要な対応を行ってまいります。</p>	<p>北川産業建設課</p>	<p>第二部（部長）</p>
13	<p>【ライドシェア】 私の保育園では、延岡市内まで車を出し、0歳児から2歳児の園児を送迎している。例えば乗り合いタクシーではないが、せっかく延岡に行くので、延岡に行く車に高校生とか乗せて送ってあげればいいと思う。現状、車が小さいが、もしこれがバスであれば、十分可能性はあると思う。バスを購入する際の補助を出していただければ、いろんな意味で地域に資することができると思う。なかなか制度化するのは難しいと思うが、ご相談させていただきたい。</p>	<p>(北川総合支所長) 北川の中のバス路線は1度抜本的に見直すべきじゃないかと思います。通学バスもそうですが、北川から出発する便は8時半前しかない。市長が言われたように、宮崎交通さんが運転手不足という現状があるみたいですが、新たなものを組み合わせながら考えていくといいと思っていますので、いろいろ検討してみたいと思います。</p>	<p>(交通手段の確保) ・ライドシェアについては、国の動向を見据えつつ、先行自治体の事例や懸念点などの情報収集に取り組むとともに、タクシー協会と意見交換を行っています。 ・スクールバスへの住民混乗や、オンデマンド型乗合タクシーの運行の可能性などについても検討してまいります。 ・地域の方々が運転手を担っていただく形についても、地域住民連携型有償運送構築事業により補助を行っています。是非地域の方々と話しあって良い形を探っていきたいと思いますが、その際は、方財地区など先行して地域住民連携型の運行を行っている事例も視察等していただきたいと思います。</p>	<p>地域・離島・交通政策課</p>	<p>第二部（部長）</p>